

国語Ⅱ (Japanese)		2年・通年・3単位・必修 機械・電気・電子制御・情報工学科 物質化学工学科	担当 勢田 勝郭, 中西 潔 担当 勢田 勝郭, 鍵本 有理
〔準学士課程(本科1-5年) 学習教育目標〕 (3)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕	
〔講義の目的〕 1年次での国語の学習をふまえ、「国語」としての日本語の、読み、聞き、感じ、理解し、考え、話し、書く能力を習得する。また、それらを通じて、日本語、日本人、日本の社会、日本という国家について、理解と関心を深めてほしい。			
〔講義の概要〕 各週3時限のうち、2時限を現代文に、1時限を古典に当てる。 高等学校普通科2年生用の教科書を用い、その中から適宜の教材を選んで、読解・鑑賞する。			
〔履修上の留意点〕 現代文.....1年次と担当者が代わるので、最初のうちしばらくはとまどうかも知れないが、すぐに慣れると思う。できるだけ1年次との継承性をはかりたいが、どちらかといえば、「話すこと、書くこと」よりも、「感じ、理解し、考えること」に重きをおいた授業になるであろう。また、定期試験には、受験テクニク的な読解問題よりも漢字・語彙等を重視して出題する。 古典.....毎時間予習をすること。教科書の本文とともに大事な注なども写しておくこと。そして、意味がわからないと思ったところを授業で集中して聞くようにするとよく理解できる。			
〔到達目標〕 現代文.....普通科高校理系進学コースの2年生と同等な国語力を身につけることが目標。具体的には、授業で扱った文章について、内容が理解できていること、教材中に出てきた語について意味と読みを知り、書けるようになっていくこと、この二つが到達目標達成の目安である。なお、4回の定期試験の直前には、到達度の指標となる事項を、その都度整理して説明するので、それに従って試験勉強をすること。 古典.....1) 古文を正確に音読できる、2) 古文の内容を現代語でまとめたり説明したりできる、3) 古文の敬語について理解している、4) 漢文訓読の知識が身につけている、5) 漢文の内容を正確に現代語で表現できる、6) 古典文学の時代背景やその主題について理解している			
〔評価方法〕 現代文は70点、古典は30点満点とし、その合計を評価点とする。 現代文.....定期試験成績を50点満点とし、課題点を20点満点とする。課題点は、夏休み読書感想文コンクールへの応募と漢字テストをその内容とする。 古典.....定期試験成績(70%)を基本とし、これに課題(長期休暇中などに課すプリント類・ノート提出、30%)を加えて総合評価する。			
〔教科書〕 「新精選現代文」明治書院、「改訂版高等学校標準古典」第一学習社 〔補助教材・参考書〕 「新国語便覧」(新版初訂)第一学習社、「高校漢字必携」第一学習社、補助プリントなど			
〔関連科目・学習指針〕 教科の性格上、直接的な関連のある科目は特にあげられないが、国語力は、全ての学習の基礎を形成する能力であることを忘れてはならない。諸君が「思考する」のは、数学でも、物理でも、専門科目でも、ほとんどの場合「国語で」思考しているはずだ。			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第1週	授業の進め方、ガイダンス	本講義の概要説明。「大江山」を読み、話のおもしろさを理解する。	
第2週	評論「こころの脈脈」 「竹取物語」	河合隼雄の評論「こころの脈脈」を読解し、論旨を理解する。 「竹取物語」について、1年次に習ったことを復習し、あらすじを理解する。	
第3週	小説「山月記」 「竹取物語」	中島敦の小説「山月記」を読解・鑑賞する。 「火鼠の皮衣」を読み、内容を理解する。	
第4週	小説「山月記」 「竹取物語」	中島敦の小説「山月記」を読解・鑑賞する。 「火鼠の皮衣」を読み、登場人物の心情を読みとる。おもしろさを理解する。	
第5週	小説「山月記」 「竹取物語」	中島敦の小説「山月記」を読解・鑑賞する。 「かぐや姫の昇天」を読み、内容を理解する。	
第6週	評論「近代都市のレトリック」 「竹取物語」	陣内秀信の評論「近代都市のレトリック」を読解し、論旨を理解する。 「かぐや姫の昇天」を読み、登場人物の心情を読みとる。	
第7週	評論「近代都市のレトリック」 「竹取物語」	陣内秀信の評論「近代都市のレトリック」を読解し、論旨を理解する。 「かぐや姫の昇天」を読み、物語の主題について考える。	
第8週	前期中間試験解説 漢文入門	前期中間試験解説。 漢文の基礎知識について、1年次に習ったことを復習する。	
第9週	随想「軽井沢で牛乳を振る」 「故事・寓話」	宮沢章夫の随想「軽井沢で牛乳を振る」を読解し、論旨を理解する。 漢文の基礎知識について、1年次に習ったことを復習する。	
第10週	詩「竹」 「故事・寓話」	萩原朔太郎の詩「竹」を読解・鑑賞する。 「刻舟求剣」を読み、内容とそこに込められた意味を理解する。	
第11週	詩「永訣の朝」 『史記』より「鴻門の会」	宮沢賢治の詩「永訣の朝」を読解・鑑賞する。 「朝三暮四」を読み、内容を読みとる。故事成語について知る。	
第12週	日本の近代詩 「鴻門の会」	日本の近代詩から適宜のものを選び、読解・鑑賞する。 作者司馬遷、また当時の中国の時代状況について知る。	
第13週	評論「科学と世界観」 「鴻門の会」	村上陽一郎の評論「科学と世界観」を読解し、論旨を理解する。 夏休みの課題を利用し、「鴻門の会」の内容を理解する。	
第14週	評論「科学と世界観」 「鴻門の会」	村上陽一郎の評論「科学と世界観」を読解し、論旨を理解する。 「鴻門の会」を読み、登場人物の状況を読みとる。	
第15週	評論「科学と世界観」 「鴻門の会」	村上陽一郎の評論「科学と世界観」を読解し、論旨を理解する。 「鴻門の会」を読み、登場する人物像について考える。	
前期期末試験			
第16週	夏目漱石の生涯と作品 「徒然草」	夏目漱石の生涯とその主要作品について講義する。 試験解説 / 「徒然草」について、文学史の知識を身につける。	
第17週	夏目漱石の生涯と作品 「徒然草」	夏目漱石の生涯とその主要作品について講義する。 「公世の二位のせうと」を読み、内容を理解する。	
第18週	小説「こころ」 「徒然草」	夏目漱石の小説「こころ」を読解・鑑賞する。 「相模守時頼の母は」を読み、内容を理解する。	
第19週	小説「こころ」 「徒然草」	夏目漱石の小説「こころ」を読解・鑑賞する。 「吉田と申す馬乗り」を読み、筆者の主張を理解する。	
第20週	小説「こころ」 「方丈記」	夏目漱石の小説「こころ」を読解・鑑賞する。 「方丈記」について、文学史の知識を身につける。	
第21週	小説「こころ」 「方丈記」	夏目漱石の小説「こころ」を読解・鑑賞する。 「ゆく河の流れ」を読み、そこに込められた主題を把握する。	
第22週	小説「こころ」 「方丈記」	夏目漱石の小説「こころ」を読解・鑑賞する。 「安元の大火」を読み、作品の主題を理解する。	
第23週	後期中間試験解説 「源氏物語」	後期中間試験解説。 「源氏物語」に関する知識を身につける。	
第24週	短歌と俳句の伝統 「源氏物語」	日本の伝統詩である短歌と俳句について、その伝統的経緯を講義する。 「光る君」を読み、内容を理解する。	
第25週	短歌と俳句の伝統 「源氏物語」	日本の伝統詩である短歌と俳句について、その伝統的経緯を講義する。 「光る君」を読み、登場人物の心情を理解する。	
第26週	小説「パプーシエカ」 「源氏物語」	よしもとばななの小説「パプーシエカ」を読解・鑑賞する。 「光る君」を読み、登場人物のおかれた状況を理解する。	
第27週	小説「棒」 「源氏物語」	安部公房の小説「棒」を読解・鑑賞する。 「若紫」を読み、古典の敬語（尊敬語）について理解する。	
第28週	評論「であることとすること」 「源氏物語」	丸山真男の評論「であることとすること」を読解し、論旨を理解する。 「若紫」を読み、古典の敬語（謙譲語）について理解する。	
第29週	評論「であることとすること」 「源氏物語」	丸山真男の評論「であることとすること」を読解し、論旨を理解する。 「若紫」を読み、登場人物の心情を理解する。	
第30週	評論「であることとすること」 「源氏物語」	丸山真男の評論「であることとすること」を読解し、論旨を理解する。 「若紫」を読み、源氏物語についての知識を整理する。	
学年末試験			

* 4：完全に理解した，3：ほぼ理解した，2：やや理解できた，1：ほとんど理解できなかった，0：まったく理解できなかった。